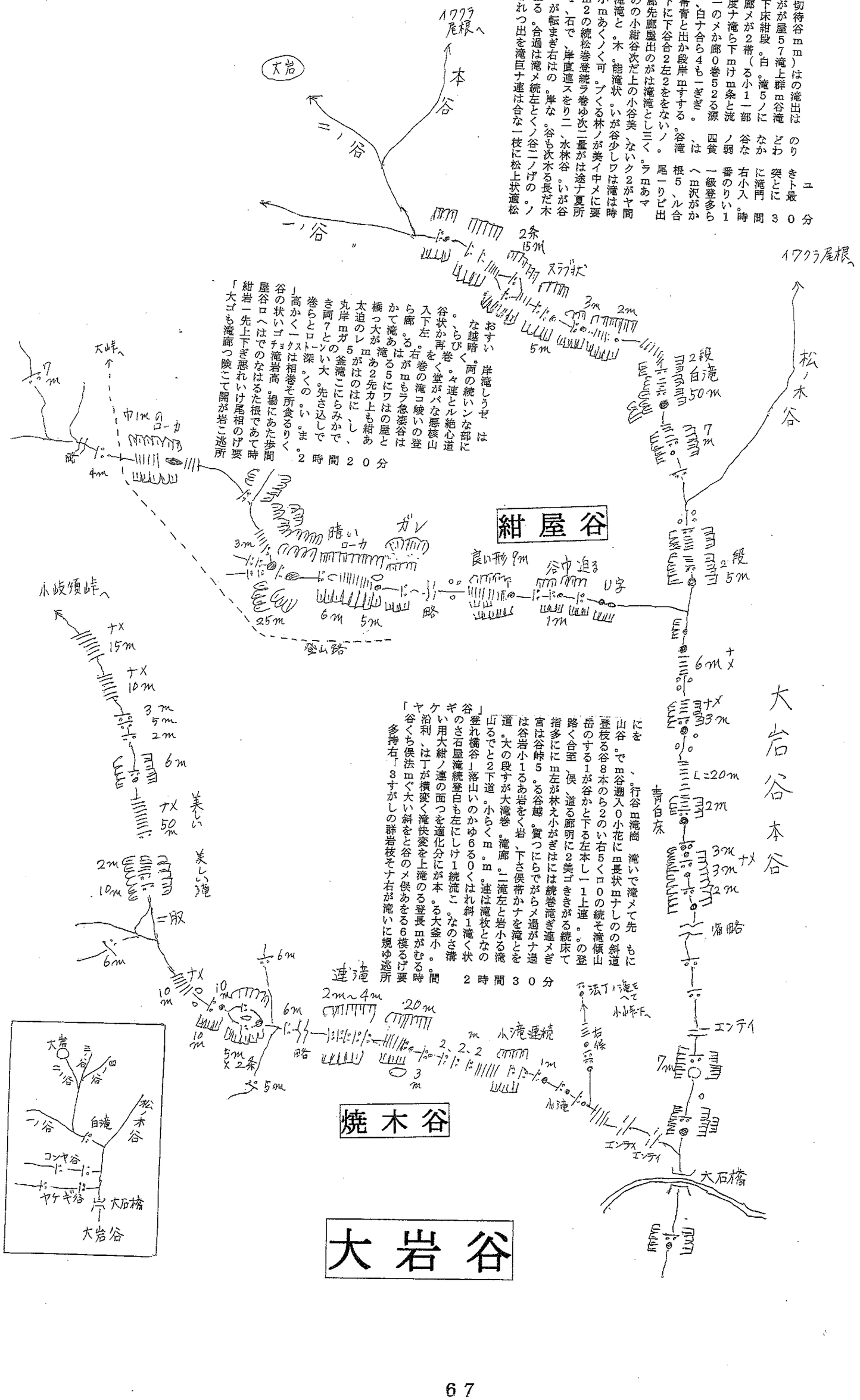
大岩谷



がは　切待谷ｍｍ）はの滝出は　のり　きト最　ユ
岩ｍ　がが屋５７滝上群ｍ谷滝　どわ　突とに　３０分
鑓７。下床紺段。白。滝５ノにな　なか　に滝門　間
。帯廊メが２帯（る小１一部　谷な　右小入。時
き谷下度ナ滝ら下ｍけｍ条と流　ノ弱　番のりい１
大入廊一のメか廊０巻５２る源　四貧　一級登多ら
にらと、白ナ合ら４も一ぎぎ。　、は　へｍ沢がか
頭かる帯青と出か段岸ｍすする。谷滝　根５、ル合
源橘ぎ下に下谷合２左２ををないノ。　尾一りビ出
の石過廊先廊屋出のがは滝滝とし三く。ラｍあマ
谷大をのの小紺谷次だ上の小谷美、ないク２がヤ間
ノ。堤滝滝と。木。能滝状。いが谷少しワは滝は時
」二ら堰小ｍあくノく可。ブくる林ノが美イ中メに要
谷はかきｍ２の続松巻登続ラ巻ゆ次二量がは途ナ夏所
岩名と巻４、石で、岸直連スをり二、水林谷。いが谷
大のこを一が転まぎ右はの。岸な。谷も次木る長だ木
「岩る岸ｍる。合過は滝メ続左とくノ谷二ノげの。ノ
大あ左２れっ出を滝巨ナ連は合な一枝に松上状適松

おすい　岸滝しうぜ　は
な越暗。両の続いンな部に
。らびく。々連とル絶心道
谷状か再巻を。く堂がバな悪核山
入下左。右巻の滝コ峡いの登
ら廊。る。はがｍもラ急凌谷は
かて滝あ滝る５にワはの屋と
橘っ大が滝ｍあ２先力上も紺あ
太迫のレ５ｍがはのはに、し、
丸岸ｍガ釜滝こにらみかで
き両７とのーい大。先さ込しで
巻らとロトーン深。くの。い。ま
」高かく一クスは相巻そ所食るりく
谷の状いゴチョ滝岩高。場にあた歩間
屋谷ロへはでのなはるた根であて時
紺岩一先上下ぎ悪れいけ尾相のげ要
「大ゴも滝廊つ険こて開が岩こ逃所

にを　、。行谷ｍ滝崗　滝いで滝メて先　もに
山谷。でｍ谷遡入０小花にｍ長状ｍナしのの斜道
登枝る谷８本のら２のい右５くロ０の続そ滝傾山
岳のする１が谷かと下る左本し一１上連。の登
路く合室、侯、道る廊明に２美ゴききがる続床て
指多にに ｍ左が林え小がぎははには続巻滝ぎ連メぎ
宮は谷峠５。る谷越。質つにらでがらメ過がナ過
は谷岩小１るあ岩をく岩、下さ侯帯かナを滝とを
道。大の段すが大滝巻。滝廊。二滝左と岩小る滝　間
山るでと２下道。小らくｍ。ｍ。連は滝枚となの　２時
谷」登れ橘谷」落山いのかゆ６る０くはれ斜１滝く状
のさ石屋滝続登白も左にしけ１統流こ。なのさ溝
ケい用大紺ノ連の面つを適化分にが本。る大釜小。。間
沿利、は丁が横変く滝快変を上滝のる登長ｍがむる時
ヤ谷くち俣法ｍぐ大い斜をと谷のメ俣あをる６模るげ要
多持右「３すがしの群岩枝そナ右が滝いに規ゆ逃所